

# 農業ビジネス(スマート農業)で失敗しないための「データ利活用型」農業経営

建設業



製造業



卸・小売業



農業関連企業



内部資源と助成を利用

自社事業との相乗効果!

人材・資産の有効活用

企業ならではの経営ノウハウ



公的支援助成制度!

## 農業ビジネス(スマート農業)に進出!

栽培

- ◆重労働・長時間労働…
- ◆天候に大きく左右…
- ◆価格変動が激しい…
- ◆海外の安い農産物との競争…



販売

高齢化・担い手不足もあり、  
農業者は減少

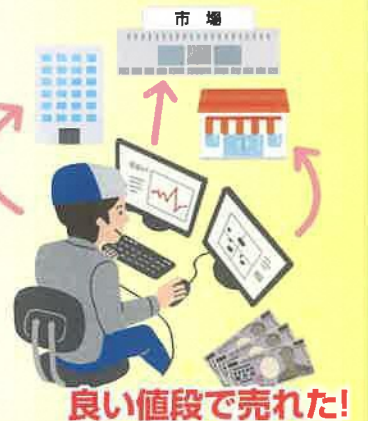


経営・財務

投資しすぎた



最先端の技術・データ力



これから・すでに 農業に進出して、  
失敗しないための考え方・方法がわかる!

詳しくは裏面へ



# 農業ビジネス(スマート農業)で失敗しないための「データ利活用型」農業経営

# 人吉校

企業経営・経営戦略

## 研修のねらい

高齢化や人手不足により農家が減少する中、企業がその経営センスや独自の経営資源を活かして、農業分野に進出する例が増えています。しかし、農業特有の販売マーケティングや栽培技術の難しさなどもあり、安定して収益の得られる農業ビジネスができていない企業は限られています。

この研修では、企業が農業ビジネス(スマート農業)で失敗しないために重要な、データ分析・データ利活用をした農業経営の考え方と具体的な事業の進め方について、事例を交えて体系的に学んでいただきます。

## 研修のポイント

- ✓ 事例(ケーススタディ)を通じて、データを活用した農業経営について体系的に学びます。
- ✓ スマート農業の先端事例を活用し、今後の農業ビジネス戦略を検討します。

## 研修期間

2020年 2/3(月)・4(火)

## 対象者

### 管理者、経営幹部、経営者

- ・農業への進出を考えている・進出した企業
- ・農業法人の管理者
- ・これから農業者を支援したい士業(中小企業診断士、税理士、公認会計士、社会保険労務士、弁護士、行政書士、デザイナーなど)

定員 35名

受講料 22,000円(税込)

## 会場

### 中小企業大学校人吉校

九州農業成長産業化連携協議会  
(共同事務局：九州農政局、九州経済産業局) 連携(予定)

月日	時間	科目	内容
2/3 月	9:15~9:30	開講式・オリエンテーション	
	9:30~11:30	農業ビジネスの“いま”と“未来”	農業ビジネスにかかわる法律や経済、技術、消費者・関係者・海外の動向などは、日々大きく変化しています。ここでは、農業ビジネスを取り巻く環境の変化を踏まえ、これからの農業ビジネスに求められるものについて学びます。 ●農業ビジネスを取り巻く環境の変化 ●これからの農業ビジネスに求められるもの
	11:30~17:00	失敗しない農業経営	企業が農業で安定して収益を上げていくために考える必要のあるテーマについて、セッションを交え、基礎から体系立てて学びます。 ●講師の取り組み紹介 ・農産物の販売マーケティング(松永氏) ・農作物の生産管理(緒方氏) ●失敗しない農業経営(セッション)
2/4 火	9:30~12:30		●マーケット分析 ●経営分析 ●気象分析
	13:30~16:30	スマート農業の先端事例	ロボット、AI、IoTなどの最先端の新技术を使い、スマート農業を実践している複数の事例を通じて、自社の農業ビジネスへの気づきを得ます。
	16:30~17:00	自社の農業ビジネスの検討(まとめ)【演習】	自社が農業ビジネスで失敗しないための、具体的な事業の進め方についてまとめます。 ●全体のまとめ ●自社の農業ビジネスへの具体的な活用検討
	17:00~17:10	終講式(修了証書交付・アンケート記入)	

2/3(月)研修終了後、受講者交流会(名刺交換会)を開催。受講者の皆さんの交流を深めていただきます。

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

## 講師紹介(敬称略)



シンクタンク・バードウィング 代表  
長崎県立大学地域創造学部教授  
鳥丸 聡(とりまる さとし)

1959年鹿児島市生まれ。九州大学経済学部卒業後、鹿児島銀行入行。10年間勤務後、(財)九州経済調査協会主任研究員・主幹・情報研究部長を歴任。1999年、米国内務省から招聘され、NPOによるコミュニティビジネスの現状を調査。2004年(株)鹿児島地域経済研究所調査部長就任。2008年シンクタンク・バードウィング代表。

総務省「合併サポーター」、国土交通省「九州圏広域地方計画推進協議会」委員、福岡県「協働推進協議会」委員、鹿児島県「行政評価監視委員会」委員、中小企業基盤整備機構九州支部プロジェクトマネージャー等を歴任。ラジオのコメンテーター等でも活躍中。



テラスマイル株式会社 (宮崎県)  
代表取締役  
生駒 祐一(いこま ゆういち)

大手システムインテグレータ・農業法人の運営を経て、2014年にテラスマイル(本社：宮崎市)を創業。独自のデータ分析技術・手法を用い、農業経営者が経営を強化するためのトレーニングサービス「RightARM」を現在100ユーザに提供している。静岡大学共同研究(AI予測)、グロービス経営大学院2010年卒業(MBA)。IBM BlueHUB第一期、農林水産省「協同農業普及事業に関する意見を聴く会」有識者(2019)、農研機構WAGRIアドバイザリーボード、スマート農業加速化実証事業(3箇所)でデータ分析を担当。農業経営塾講師、宮崎県農業経営指導士など。

株式会社クロスエイジ 取締役 (福岡県)

松永 寿朗(まつなが としろう) (予定)

会社の経営理念に興味を抱き、佐賀大学大学院卒業後に入社。取締役事業統括を務める。生産者プロデューサーとして農産物の商品化や販路開拓、新規農業分野参入支援、スマート農業導入支援を行っている。

株式会社ソフトビル 代表取締役 (熊本県)

緒方 良(おがたりょう) (予定)

昭和57年11月設立。農業分野への関りは農業関連ITを基盤に40年を経過している。その中でもミカン、梨、大根、トマト、馬鈴薯等の青果物自動選別装置を30数か所の九州各県に導入。また業務パッケージシステムを始めとする業務支援システムで情報産業の中で、様々な課題を豊富な経験と知識でハードとソフトを組み合わせ、現場で利用できる仕組みを支援している。

